

10014 フランス語Ⅱ A a French IIA		2 年次～ 通年 2 単位	
担当者	和泉 涼一	履修可能学科	E選必 Pe選必 Pc選必 C選必 W F N
		関連資格	
サブタイトル	フランスの美術館をまわる：初級から中級へ		
授業内容 ・ ねらい	<p>1) 初級レベルの復習をも兼ねた授業です。あまり得意ではないという人でも、なんとかついてこれる程度の授業を心がけます。ただし初級文法の繰り返し、などということではなく、その種の説明や練習問題は最小限にとどめるつもりです。また後半は中級程度のレベルとなります。</p> <p>2) フランスの美術館、おなじみのルーヴルにオルセー、ピカソ美術館やロダン美術館、ちょっとマニアックなモロー美術館などについての解説を、やさしいフランス語で読んでいきます。</p> <p>3) 当然ながらレッスンを追うごとに少しずつ語学的な難度は上がっていきますが、内容がおもしろいのであまり苦にならないでしょう。最終的にはフランス語中級のレベルを目指します。ここまでくればもう免許皆伝です。</p> <p>4) 秋にはフランス語検定試験 4 級に合格する実力を養います。</p>		
授業計画	<p>1) 全部で10のレッスンからなります。各レッスンごとにとひとつの美術館を扱います。</p> <p>2) 「ルーヴル」、「オルセー」、「オランジュリー」、「ボンポドゥー美術館」、「クリュニー中世美術館」など、テキストの目次通りに進行していきます。おおむね2度の授業でワンレッスンということになります。それぞれのレッスンごとに重要な項目をチェックし、練習問題をこなします。</p> <p>3) 音読を非常に重視します。テープを活用して何度も発音することでフランス語のセンスを養います。</p> <p>4) 可能なら10月末頃にフランス語検定試験(4級)の準備のための授業を1度おこないます。</p> <p>5) 時間をやりくりして、関連のビデオを鑑賞する予定です。</p>		
教科書 参考書	<p>教) 藤田尊潮『やさしくミューゼでパリめぐり』(白水社)</p> <p>参) 清岡智比古『フラ語入門、わかりやすいにもホドがある!』(白水社) (参考書の購入は任意です)</p>		
評価方法	<p>授業中の活躍度(宿題をやってきたか、など)と定期試験によって判定します。</p> <p>実用技能フランス語検定試験による単位認定の方法もあります(担当教員に問い合わせてください)。</p>		
事前準備学習 履修条件等	<p>外国語の勉強はなによりも根気が大事です。きちんと出席しましょう。フランス語 I A の単位を修得していることが必要です。</p>		